



# ふくし・かいご通信

発行：社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662



北海道福祉人材センター  
HPリンク

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。



今月のテーマ 「介護のワンポイント」

## 「リスクマネジメントについて」

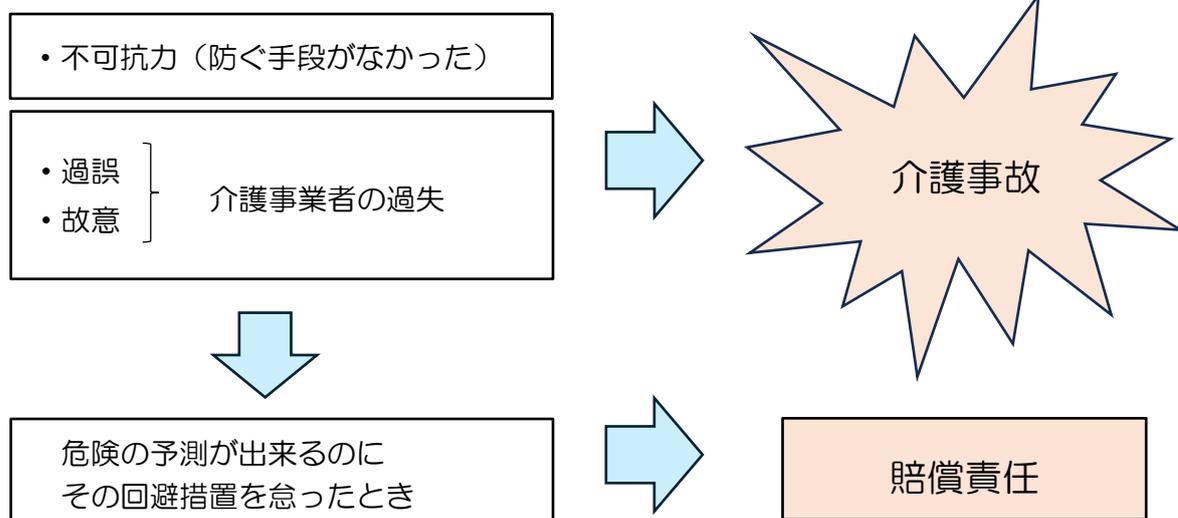
一般社団法人北海道介護福祉士会 監事 福島 義典 氏  
社会福祉法人 札幌光陽会 高齢者事業統括管理者  
ヘルパーステーション ふぁいと 所長

### ■リスクとは

広辞苑ではリスクとは「危険」とあります。又リスクマネジメントは、「企業活動に伴うさまざまな危険を最小限に抑える管理運営方法」とあります。では高齢者のリスクとはどのようなものが考えられるのでしょうか。感染症にかかる、交通事故にあう、火傷を負う等様々なリスクがありますが、中でも多いリスクは、転倒、転落、誤嚥であると言われています。これらが原因となって骨折や窒息等が起こると、介護事故となります。

### ■介護事故について

介護事故とは、介護サービス中に発生するすべての人身事故での身体的被害及び精神的被害が生じたものです。事業者の過誤過失の有無は問いません。危険予測が出来るのにその回避措置を怠ったときは、賠償責任が問われる場合があります。図に示すと、下記の通りです。



上図の他にも、事故や苦情につながる「原因」や「状態、状況」を放置しておく、事故や苦情が「発生」し、状況によっては、「訴訟」や「社会的信用喪失」となる可能性があります。これら介護事故等防止の為に、リスクマネジメントを行うことが必要です。

## ■リスクマネジメントの目的

### ◎広義のリスクマネジメント

- ・その人らしい生活が安心して継続できるように支援すること。
- ・介護事故を無くすことだけを最終目的にしてはいけない。

### ◎狭義のリスクマネジメント

- ・事故に対する危機管理

これらの目的を基にリスクマネジメントを行うことが必要ですが、理解しておくことは、「リスク0の世界は存在しない」そして「人は誰でもミスをする（ヒューマンエラー）」によって、「原因を究明し、危険を最小限におさえる」為に「組織で事故防止活動に取り組む」ことが大切ということです。

## ■組織での事故防止活動の取り組み

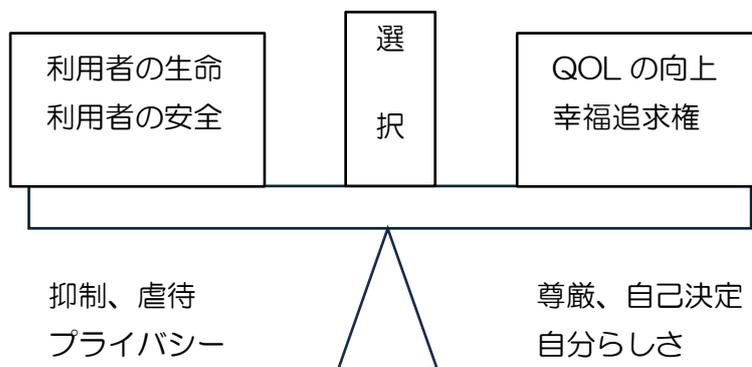
組織で事故防止活動に取り組む為には、KYT シート等を活用して危険予知トレーニングを行うこと、事故原因究明の為のリスクアセスメント手法として「SHEL モデル」や「4M4E モデル」や「なぜなぜ分析」を利用すること、ヒヤリハット報告、事故報告を活用して対応策を徹底すること等が考えられます。

そして事故防止検討委員会やリスクマネジメント委員会等を設置し、職員間で意見を交わし問題意識、気づきを深め、情報共有して報連相を徹底して取り組む事が必要です。又事故が発生した時は、状況確認を的確に、対応は迅速に行ない、ご家族や行政に報告することが必要です。

大切なことは、事故が起きて初めてご家族に連絡するのではなく、日頃からご利用者のご様子やリスクについてご家族にお伝えする等して、コミュニケーションを密に図るということです。この対応を行うことにより、事故が起きた時のご家族の理解や対応にも違いが出るものと考えられます。

## ■事故を防ぐ為の選択

私達は常に事故を防ぐ為の選択を下図のようにせまられます。



「事故さえ防げれば生活の質（QOL）が低下しても良いのか。。。」決してそうではなく、ご利用者の生命や安全、そしてQOLの向上や幸福追求権を共に考えることがご利用者の尊厳や自己決定、自分らしさを尊重することに繋がります。ご利用者にとって何が良いかを考えることが必要であり、その為には、クォリティーインプルーブメントの視点を持つことが大切です。

## ■クォリティーインプルーブメントの視点

クォリティーインプルーブメントとは、介護サービスの質の確保を通して、組織を損失から守ることです。すなわち、ご利用者一人一人に着目したより質の高いサービスを提供することによって、多くの事故を未然に回避できるという考えです。

大切な視点は、何故それが起こっているのかをアセスメントして、その要因に対応するケアを行うということです。その為にもご利用者の理解を深め、ご利用者の生命や安全、そしてQOLの向上や幸福追求権を考えることが大切と考えます。

## ■リスクマネジメントを行う上で大切なこと

- ・ご利用者個人の尊厳と自己決定を尊重する。
- ・クオリティーインプルーブメントの視点を持つ。
- ・利用者理解を重要視する。
- ・問題意識、気づきを深める。
- ・事故要因分析、対応策を徹底する。
- ・組織で取り組む、報連相を徹底する。
- ・日頃から利用者、ご家族とコミュニケーションを密に行う。

と考えます。

皆様が介護に携わることになりましたら、ご利用者の為に、是非取り組んで頂ければと思います。



### 《引用・参考》

・厚生労働省 「福祉サービスにおける危機管理（リスクマネジメント）に関する取り組み指針～利用者の笑顔と満足を求めて～」について

<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/04/h0422-2.html#1>

・厚生労働省 老健局 高齢者支援課 「介護保険施設等における事故予防及び事故発生時の対応に関するガイドライン」の策定について（周知）Vol.1436

<https://www.mhlw.go.jp/content/001591418.pdf>

## ■読者へのメッセージ

介護従事者は資格を取得したことがゴールではなく、「あなたがいて良かった」「ありがとう」と少しでもご利用者に満足して頂ける介護、支援を行えるよう、日々の研鑽が必要かと思えます。介護を仕事にしたいとお考えのあなた、是非我々介護福祉士等の介護従事者のお仲間になっていただければ幸いです。。。いや、是非、なって下さい！！ご利用者がそして私達が、あなたをお待ちしています！！

### 【法人の紹介】 社会福祉法人 札幌光陽会



◎開設年月日：昭和53年10月20日

◎運営事業：西岡高台こども園、ケアハウス グリーンライフ光陽、特別養護老人ホーム みどりの丘、みどりの丘指定短期入所生活介護事業所、みどりの丘居宅介護事業所、リハビリデイサービス ふぁいと、ヘルパーステーション ふぁいと、認知リハデイ ふぁみり

◎札幌市委託事業：札幌市豊平区介護予防センター西岡

◎札幌光陽会 基本理念：

- ・地域の需要に応じた事業展開を行い、地域に根ざした経営を行うことを目的とする。
- ・利用者の立場に立った福祉サービスを提供し、利用者の満足感と笑顔を喜びとする。
- ・ノーマライゼーションの普及・実践を行い、個人の尊厳を守り高めることを使命とする。

◎職員数 125名

◎ホームページ：<http://www.s-kouyukai.jp/>





一般社団法人 北海道介護福祉士会  
 介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技  
 術・経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進  
 に寄与している団体です。 ★ 新入会員募集中 ★



ホームページ  
はコチラ



入会のご案内  
はコチラ

TEL&FAX 011-222-5200

令和7年度第2回福祉人材ステップアップ講習会



# 福祉職場で役立つ 「伝え方」のコツ

～人とかかわる仕事への第一歩～

「ちゃんと伝えつもりなのに、うまく伝わらない」  
 そんな経験はありませんか？  
 分かりやすく伝えるためのコツを学びます。

申込フォーム



福祉の仕事に興味のある方ならば、どなたでも参加可能です！ (資格・経験不問)

2026年 3月 6日 金



時間

13:20-16:30 (受付13:00-13:20)

場所

かでのる2.7 10階 1050会議室  
 (札幌市中央区北2条西7丁目1)

定員

先着 30名  
 (事前予約制)

講師

丸山 宏昌 氏

札幌大谷大学 社会学部 地域社会学科 准教授  
 株式会社とける 講師

「ふくし・かいご通信」を  
 お読みいただきありがとう  
 ございます。

皆さまからのご感想をお待ちして  
 おります！



ご感想入力フォーム

北海道福祉人材センターでは、福祉職場への就職に関する相談を  
 随時受付けております。

TEL 011-272-6662



発行：社会福祉法人北海道社会福祉議会  
 北海道福祉人材センター